

ドリの採集時に発見された棲息地である。千種町の鷹巣部落の周辺をよく調査すれば棲息地の環境によく似ている場所もあるので発生地も見付かるものと思われる。

Ussuriana stygiana BUTLER ウラキンシジミ

日本特産種であるこの蝶は、一般に山地性であるが、兵庫県では氷ノ山や扇の山の山上近くでも採れているが、千種川流域では赤穂市から相生市へかけての低山地に多産地が知られている。又姫路市北部、神戸市西部にも多産地があり瀬戸内海に面した低山地には何所にでも産している。但し中位段丘や高位段丘の段丘上よりの採集記録はない様である。

千種川の河口付近より赤穂郡上郡町あたり迄に発生地が多い、詳細はヒロオビNo.4に岩村巖氏が赤穂市の蝶類で中に書かれているので参照されたい。

中流部から上流部にかけても点々と採集されているが個体数は少ない。

参 考 文 献

播磨蝶友会 ひろおび、No.1.2.3.4.号

神戸新聞社学芸部 1974. 兵庫探検自然編、神戸新聞社、兵庫

山本広一・吉阪道雄 兵庫県蝶類目録(1)兵庫生物 Vol. 3. No. 4

山本広一・吉阪道雄 兵庫県蝶類目録(2)兵庫生物 Vol. 3. No. 5

山本広一・吉阪道雄 兵庫県蝶類目録(3)兵庫生物 Vol. 4. No. 1

山本広一・吉阪道雄 兵庫県蝶類目録(4)兵庫生物 Vol. 5. No. 1

〈ISAMU OZAKI〉〒673 明石市

◆編 集 後 記◆

長年に亘って兵庫県の蝶の研究をしておられる尾崎・岩村両氏に聞くとおれば、10数年前までは、今珍種と言われている兵庫県の蝶も、その産地へ行けば多数の個体を見ることができたそうである。

ところが今はもうその面影はなく、時間をかけてその産地へ行っても運が良ければ見られるという程度になってしまった。非常に残念でならない。

しかしながら、交通機関の発達で行動範囲が広がっ

たことと、同好者が増えたことによって、県下における新種や新産地が続々みつまっている。「ひろおび」No. 4、No. 5でもこの一端を報じてきたが、今後も郷土の蝶の研究をテーマに採集記なども交え発行していきたいと考えています。
(広畑)

播磨蝶友会会員名簿

ひろおび(播磨蝶友会会誌) No.5

発 行 者/播 磨 蝶 友 会

〒678 相生市

佐々木薫方

発行年月日/1980年 8月1日

編 集 者/広 畑 政 己

印 刷 所/西 播 印 刷 株式会社

〒670 姫路市保城377-14